

会 議 録

会議の名称	平成29年度第2回清須市健康づくり推進協議会
開催日時	平成30年2月21日（水） 午後2時00分～午後3時35分
開催場所	清須市役所 南館 3階 第1会議室
議題	1. あいさつ 2. 協議事項 （1）保健事業について （2）健康日本21清須計画(第2次)推進について
会議資料	会議次第 資料1 平成29年度第1回清須市健康づくり推進協議会ご意見とその対応について 資料2 保健事業 2-1 母子保健事業 2-2 成人保健事業 2-3 介護予防事業 資料3 健康づくりをみんなで考える会（市民ワークショップ） 資料4 健康日本21清須計画（第2次）の体系 資料5 子育てのちょっとした悩みや困りごとはありませんか？
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数 （公開した場合）	1人
出席委員	鬼頭委員、加藤委員、宮田委員、小川委員、富田委員、佐橋委員、浅井委員、伊藤委員、波多野委員、中村委員、山内委員、伊澤委員、鈴木委員
欠席委員	2人
事務局	福田部長 〔健康推進課〕 田中、武居、古川、高木、舟橋、上田 〔子育て支援課〕 佐古 〔高齢福祉課〕 幸村
会議の経過 《要旨》	1. あいさつ 鬼頭会長 2. 議題：事務局より資料及び参考資料に基づき説明。 （1）平成29年度第1回清須市健康づくり推進協議会ご意見とその対応について （2）保健事業について （3）健康日本21清須計画（第2次）推進について ①「健康づくりを考える会」（市民ワークショップ）報告 ②「市担当職員 実務者会議」報告 （4）その他 ①「子育てコンシェルジュ」の相談状況

3. 協議	
富田委員	介護予防事業の「やろまいか教室」と「いこまいか教室」はどう違うのですか。体操の内容に違いはありますか。
事務局	やろまいか教室は、アルコ清洲の広い会場で毎週実施しており、予約無しで誰もが参加できる教室で比較のお元気な方が利用しています。いこまいか教室は地域が主体となって運営しており、地域の公民館などで開催し、参加者の状況によつていすに座ってできる体操も実施しています。
加藤委員	特定健診を受診し、治療につながった場合は特定保健指導の対象者になるのですか。
事務局	特定健診受診時の状況が基準になるので、受診時に血圧・血糖・脂質異常に関する服薬をしていない場合は特定保健指導の対象者になります。
小川委員	11 ページ特定健診法定報告の受診者数が、集団健診と個別健診の合計と異なります。また、12 ページ特定健診受診勧奨普及啓発の案内通知に比べ受診者が少ない気がします。受診率が低いと保険料に影響があるのではないですか。
事務局	法定報告については、4月1日現在の清須市国民健康保険加入者を対象としており年度途中に異動していると受診者に含まれません。受診率の現状は45.9%となっています。保険料への評価指標はいくつかありますが、受診率も指標のひとつです。
小川委員	健康計画の中間評価では、がん検診が40%以上の目標値となっていますが、胃がん検診を見ても受診率は19.8%となっており、健康な100歳になるためには検診の受診率の向上が必要です。受診率向上のために啓発が必要と考えます。
佐橋委員	健（検）診を受診すると何か見つかるのではないかと怖く、無料でも行かない人もいます。周りが病気の発見を勧める形だと行きにくいと考えます。CT検査で他の病気が見つかる人がありますがCT検査の機械はいくらくらいかかりますか。
加藤委員	機種によって差があります。機能もさまざまに数千万円くらいかかると思います。何か見つかったら怖いという気持ちはわかりますが、見つけずに進行することこそが怖いことで、早期に発見して早期に克服する方がいいと言ったプラスの言葉で広報していくと良いと思います。
小川委員	がん検診は何歳まで実施する必要があるのでしょうか。長生きするといろいろな病気が出てくるので検診の啓発を強化し1人でも助けられると良いと考えます。
加藤委員	個人差や個人の意見を尊重し受診したい方は受診します。日本人の半数はがんで死亡します。高齢になってもがん検診は必要です。
事務局	受診率の向上のため、いろいろな形で啓発しています。特定健診の啓発では個別通知を行い、集団健診に加え、医療機関での個別健診を実施、公費負担による無料化により50%近くの方が受診しています。集団のがん検診ではバス検診車の昇降が辛い高齢者も、ご自分の都合のいい日に実施できる個別検診の整備やがん検診の啓発等していくことで特定健診の受診率まで伸ばすことができると考えます。

鈴木委員	6 ページ内視鏡運営委員会について自分も委員をしていますが、胃内視鏡検診で2名のがんが発見されました。ガイドラインでは「胃内視鏡検診は2～3年間隔の受診で生存率が高い。2年に1回の検診で良い。偶発症状の危険もあるので50歳以上の内視鏡検査を受けた方は間に胃透視を実施する必要はない。」となっています。よろしくお願ひします。
鬼頭会長	宮田委員、薬をとおして様々なサポートをされている薬剤師の実績からご発言いただけませんか。
宮田委員	自分が内服している薬の効果、副反応、重複して同じような薬を内服しないようにお薬手帳の普及に努めています。薬の管理・情報提供・ご自身の健康増進につながるようしていきたいと思ひます。
加藤委員	お薬手帳の普及はどのような状況ですか。
宮田委員	理解は進んでいますが自分でメモを持っており、自分で管理しているからいいと言う人もいます。お薬手帳は自分の管理だけではなく、薬剤師も個人の薬の管理、残薬チェックのために必要な確認をするツールになっています。
鬼頭会長	歯科医院でもお薬手帳を見せてもらひ非常に参考にしています。
佐橋委員	ユニセフの報告によれば、日本は赤ちゃんに最も安全な国と言ひられています。乳児死亡率は他国に比べてどうして低いのでしょうか。
加藤委員	一番わかりやすいのは、米国は先進国だが皆保険ではないため、お金がないと受診ができません。日本は子ども医療で気軽に医療にかかることができることが大きいです。国は出生率を上げたい状況です。
鬼頭会長	伊澤委員、子育て中の母親の立場から子育てについて発言いただけませんか。
伊澤委員	現在、春日地区に居住しており、ジュニアリーダー、育成会に関わっていますが、県下の子ども会が発展しているところは地域も発展しています。親の都合で子ども会を退会している人も増えています。また、異世代交流・地域参加を年に1～2日実施しています。食育まつりは毎年夢の森公園で実施していますが、昨年は水トピアで開催されましたが駐車場が狭い状況がありました。学校の公開日と重ならないよう日程の調整をして頂きたいです。
鬼頭会長	浅井委員、食育まつりにも関わられ、長年、食生活改善推進員としてご活躍されてみえますが、ご発言いただけませんか。
浅井委員	食育まつりは毎年盛大に開催されており、食生活改善推進員として野菜摂取を啓発しています。平均寿命と健康寿命の差は前回の報告に比べて大きく変化していません。いかに健康寿命を延ばすかは食生活・運動・禁煙・生活習慣病予防です。行政と共に食を通して取り組んでいきます。
鬼頭会長	伊藤委員、地域の健康づくりとして運動教室のご指導をしていただひておりますが、子どもたちの健康づくりについて発言いただけませんか。
伊藤委員	健康推進課、高齢福祉課が実施する健康づくりリーダー研修があり、教室を運営する際参考になっています。口の体操を学び、唾液腺を刺激することも勉強になりました。市民からの要望としてどこでも、誰でもできる市の体操があるといい、と言う意見があります。高齢者の教室を立

鬼頭会長	ち上げて10年になりますが、友人と話せる場所が増えたと好評です。食べるときに唾液が少ないと弊害があり、口の体操は非常に有効です。波多野委員、子育てや子どもたちの健康を考えるうえでお気づきの点がありましたらご発言いただけませんか。
波多野委員	母子保健推進員として生後3か月未満児の家庭訪問が主な活動となっています。地域の赤ちゃんやママに接することができます。先日研修に参加させていただき、フィンランドのネウボラについてパパと共に地域で安心して子育てができる取り組み、堺市の母子健康手帳交付時に担当の保健師を紹介している取り組みを学ぶことができました。清須市でも取り組まれると思いますが、ここで紹介させて頂きました。
鬼頭会長	中村委員、企業で健康管理室のお立場で従業員の健康づくりにご尽力された実績から、ご発言いただけませんか。
中村委員	社員の健診受診率は3月末までに100%を目指し、社員のフォローはできていますが家族は不十分です。年2回指先でできる血液検査(アディポネクチン)の補助もしています。特定健診後の指導は管理栄養士の指導をほとんどの方が受けてもらっています。年1回外部の歯科衛生士によるブラッシング指導など歯科健康教育も実施しています。
鬼頭会長	山内委員、働き盛りでお忙しい日々だと思いますが、小中学生やご自身の健康づくりについて、ご発言いただけませんか。
山内委員	働き盛りの世代、子育て世代としては、食育まつりなどで教育してもらおうと偏食も改善されるのではないかと考えます。
事務局	毎年食育まつりでは、市役所各課、子ども会、企業など出展しており、楽しい雰囲気、小さなお子様連れの家族、高齢者も参加していただいています。また、特産品である土田かぼちゃや宮重大根などを使った料理の試食や野菜の販売も実施しています。
鬼頭会長	鈴木委員、助言をお願いいたします。
鈴木委員	保健所としては、健康づくりワークショップにも参加しましたが参加者が熱心に意見交換をしていた。また、実務者会議で連携を図り、健康計画の推進を図っています。子育てコンシェルジュについても設置し、今後、子育て包括支援センターの開設予定と聞いています。清須保健所管内の女性の喫煙率が高いこと、運動不足にも対策が必要と考えます。
佐橋委員	伊藤委員の誰でもできるラジオ体操のような全身筋力体操にウルフィ体操があるのでお勧めします。
加藤委員	ラジオ体操第1を真剣に取り組んでいるグループとやっていないグループでは健康に差がありました。人とふれあいみんなのできる機会が大切です。
佐橋委員	寿会ではグランドゴルフの前などにラジオ体操を実施しています。
加藤委員	たくさんの人と交流できている人は薬を飲んでいる人より元気という統計があります。
伊藤委員	体育祭で最初に準備体操をしますが、学校によってラジオ体操をしていないところもあり、ラジオ体操を知らない子どもたちをみます。県や市レベルの介護予防の体操を普及できると良いと思います。

<p>佐橋委員</p> <p>鬼頭会長</p> <p>健康福祉部長</p>	<p>昔は、子ども会で夏休みに45日間ラジオ体操を実施していましたが、今は7日間程度。先を見るのも大切ですが、過去を振り返り良いものは取り入れていくことも大切だと思います。</p> <p>それでは、このあたりで協議を打ち切らせていただきます。</p> <p>閉会の挨拶</p>
<p>会議の経過を記載して、その内容に相違ないことを証するためにここに署名します。</p> <p style="text-align: center;">署名委員</p> <p style="text-align: center;">波多野 眞純 ⑩</p> <p style="text-align: center;">浅井 奈尾子 ⑩</p>	
<p>会議の結果</p>	<p>会議の経過に示したとおり</p>
<p>問合せ先</p>	<p>健康福祉部 健康推進課</p> <p>052-400-2911 内線2111・2112</p>